

『第4の革命～エネルギー・デモクラシー』 上映会 & 中島恵理さんのお話

諏訪地域の自然エネルギーの普及を目的とした、自然エネルギー信州ネット SUWA では、この分野における知識知見を深めるため、今話題の「第四の革命」上映会を開催することになりました。同時に、長野県環境部温暖化対策課長の中島課長にお越しいただき、長野県の地域から始まるエネルギー革命のお話を伺います。どなたでもご参加いただけます。この機会がみなさまにとって新しい発想の種を得るひと時となれば幸いです。

- 期日：2012年3月3日(土) 13:30～16:30
- 参加料：500円(会員は無料ですが、年間会費3,000円をなるべく会場でお支払い下さい)
- 13:30～「第4の革命」上映 15:15～長野県環境部温暖化対策課長中島恵理氏の講演と質疑
- 場所：岡谷市イルフ・プラザ3階多目的ホール 〒394-0027 長野県岡谷市中央町一丁目11番1号
- 駐車場 道を挟んで併設されている市営駐車場(5時間まで無料)をご利用下さい
- 定員：100名(会場が大きくないため、参加ご希望の方は、できるだけお名前と人数を事前にご連絡下さい)
- 申込：沖野外輝夫 okinow@po2.lcv.ne.jp 0266-58-0490 (会員の方は、メーリングリスト上でOK)



本作は、ドイツを脱原発決定へ導き、再生可能なエネルギーへのシフトを決断させたドキュメンタリーです。2010年ドイツ全土で上映されると、その年のドキュメンタリー映画最高の13万人を動員し、2011年テレビで放映されたときには200万人が視聴しました。ドイツ連邦議会議員やヨーロッパ太陽エネルギー協会会長を務めたヘルマン・シェーアは、大量の風力発電導入を促した1990年の“電力買い取り法”と、太陽光発電導入の起爆剤になった2000年の“再生可能エネルギー法”の2つの法律を制定させた中心人物です。そのシェーアがナビゲーターとなり、太陽光、風力、水力、地熱など、再生可能な自然エネルギー源の可能性を伝えています。ノーベル平和賞受賞者であるバングラディッシュの経済学者ムハムド・ユヌス、アメリカの起業家イーロン・マスク、国際的な人権活動家ビアンカ・ジャガー、デンマークで自然エネルギー活用の中心的役割を果たすコミュニティを設立したブレベン・メゴー、アフリカ・マリ共和国で自然エネルギーと環境保全に取り組むイブラヒム・トゴラなどが登場し、100%再生可能なエネルギーへシフトすることが可能であることを分析し、紹介しています。(上映時間/83分)

●●●お話 「長野県の自然エネルギー政策の現状と今後 ～諏訪地域に期待するもの～」

講師：中島恵理さん(長野県環境部温暖化対策課長) 京都府出身。1995年京都大学法学部卒業後環境庁入庁。1999年から2001年まで英国留学、2000年ケンブリッジ大学土地経済学科修士課程卒業、2001年オックスフォード大学環境変化管理学科修士課程卒業。その後、環境省、経済産業省などを経て、2011年4月より長野県環境部温暖化対策課長。主な著書：『英国の持続可能な地域づくり』(学芸出版社)、『ビジネスの魅力を高める自然エネルギー活用術』(築地書館)、『環境マネジメントとまちづくり』(共著、学芸出版社) 他

